

令和3年度 事業報告

I 概要

新型コロナウイルスの感染が依然として深刻ななかで、従来では当たり前だと思われてきた常識が激変し、新しいビジネスや価値観が次々と登場する時代を私たちは経験しています。

こうした状況下ではありますが、当センターでは受託事業をはじめとする多くの就業機会の提供や、市内のシニア世代に向けた社会参加や生きがいの場を創出し、令和3年度の受託事業実績（労働者派遣事業を含む）は前年度対比15,059千円増加し、266,770千円となりました。

これらの実績は当センター会員の絶え間ない努力の結果であり、またシルバー人材センター事業が地域や市民の皆様から必要とされていることを表しています。

コロナ禍の影響により、ハローワークや大型ショッピングセンターでの出張説明会など、会員数の増加を見込むPR活動が制限されるなか、新たな就業メンバーを募集するチラシの配布や、当センター会員が公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会（以下「兵シ協」という）制作のテレビCMに出演したほか、入会の有無を問わず幅広い層の市民が参加できる事業など、工夫を凝らした取り組みの成果により、新たに65名がセンターに入会し、シルバー会員として充実したセカンドライフに向けてスタートしたところであります。

近年、朝来市内でも労働力人口の減少が浮き彫りとなっており、労働力不足を補完するため、男女を問わず多くの企業がシルバー人材センターに寄せる期待はますます大きくなってきています。

以下、令和3年度の事業実績について報告いたします。

II 事業内容

1. 公益目的事業

(1) 安全適正就業の推進

- ① 就業先で高所作業などに該当する危険個所を把握するため、安全就業部会委員と事務局職員による安全パトロールを計7回実施しました。
- ② サービス関連や観光施設での就業中に、人命救助や緊急時に必要なAEDを用いた心肺蘇生法の講習会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたため未開催となりました。
- ③ 植木剪定および草刈作業に就業する全ての会員を対象に、事故防止について学ぶ研修会を4月～5月にかけて合計3回開催し、受講者には受講済ステッカーを配付しました。就業会員がヘルメットに貼付し、会員相互の安全意識の高揚に努めました。
- ④ 複数の会員が交替しながら働くローテーション就業の先では、事故防止や安全対策をはじめ、就業範囲や就業ルール、会員同士の引継ぎについて全ての会員が理解出来るよう、就業先ごとのマニュアル作成を進めました。

【安全就業に向け開催した講習会】

実施時期	講座名	内容	参加人数
4月22日～23日	草刈安全研修会	傷害・賠償事故防止と就業マナー向上	62名
6月30日	剪定安全研修会	転落事故防止と就業マナー向上	14名
9月30日・10月5日	交通安全講習会	運転業務中の交通安全について	20名

(2) 会員と就業機会の拡大

- ① 令和3年度末の会員数は528名となりました。

新規入会者数を退会者数が上回り、前年度と比較した会員数は15名の減少となりました。会員数のうち女性が占める割合は兵庫県内トップの47%となりました。

【会員数の状況（令和3年度末現在）】

	総会員数	正会員	プラチナ会員
合計	528名	501名	27名
男性	280名	274名	6名
女性	248名	227名	21名

※新規入会者は65名（前年度対比17名増）、退会者は80名（前年度対比19名増）

- ② センターに入会し様々な活動を希望されるシニア世代の方々に、土日祝日を除きいつでも入会手続きが可能な体制をとっています。入会手続きが簡素化される一方で、入会から一定期間が経過した会員を対象に、センター会員としての役割などを再認識するため、新入会員オリエンテーションを3か月毎に年度内に3回開催いたしました。
- ③ 会員が希望する職種について調査・把握した後、請負契約では宿直業務、労働者派遣契約では製造業を中心とした工場での作業やスーパーマーケットでの業務を新規に受注し、会員の就業機会の拡大に努めました。
- また、担い手となる会員が不足している植木剪定作業は、新規受注を停止せざるを得ない状況になるなど、新たな人材の発掘と育成が必要となっています。
- ④ 多くの就業グループが開催する定例ミーティングは、仕事の平準化を図るとともに、同時に会員同士の連携強化に繋がる重要な機会となっています。
- ⑤ 朝来市介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」という）に携わろうとする会員が既に活躍中の会員に同行し、就業前の不安や疑問を払拭できるよう、就業体験の機会を設けました。

(3) 広報活動の充実

- ① 広報編集委員会を中心に、当センターが実施した各種事業の内容をお知らせするため、新鮮な誌面を意識した会誌「シルバーあさご」を8月と12月に発行し市内全戸に配布しました。表紙デザインが一新されたことと合わせて、生き活きとしたシルバー会員の素顔を現場で密着取材して名前・写真入りで掲載した記事は、これまで以上に大きな反響を呼びました。
- ② 毎月、「事務局からのお知らせ」を発行し、理事・監事、地域班長の紹

介をはじめ、各部会の状況や会員の活動、センターの予定等を発信しました。

(4) 各種講習会の開催

- ① SCカルチャー体験講座は、設立30周年記念に先行し7月から11月までの期間に開催しました。豊かな経験を持つ会員が講師として活躍したほか、人気講師による各種講座には多くの市民が参加し、年齢を問わず生涯学べる機会を提供しました。

【SCカルチャー体験講座】

実施時期	講座名	内容	参加人数
7月～11月(4回)	絵手紙講座	心のままに季節や思いを描く	延12名
7月～10月(3回)	筆ペン習字講座	冠婚葬祭にも役立つ筆ペン習字の講座	延30名
7月～9月(3回)	DIY講座	簡単!障子や網戸張替、刃物研ぎ	延30名
9月～11月(3回)	おのれよ 己書講座	味のある字を描く「己書」を体験	延30名
9月21日	爽快!健康 エクササイズ講座	健康体の持続に向けた体操教室	12名
10月19日	ノルディック ウォーキング講座	効率の良い有酸素運動	15名
11月17日	100歳まで動ける 身体づくり講座	シニア世代に向けた筋力トレーニング	13名

- ② 朝来市高年福祉課と共催で総合事業の担い手を新たに養成するため講習会を開催しました。

【総合事業の担い手養成講習会】

実施時期	講座名	内容	参加人数
10月22日	家事支援サービス スタッフ養成講座	介護保険・各種訪問サービスを学ぶ	11名

- ③ 人手不足ならびに現役世代を支える分野での就業を促進するため、兵シ協が主催する高齢者活躍人材確保育成事業にかかる講習会にも取り組みました。

【高齢者活躍人材確保育成事業にかかる講習会】

実施時期	講座名(内容)	参加人数
6月7日～8日	ハウスクリーニング講習会(清掃マイスター2級資格取得)	10名
12月6日～8日	ときめくお洒落講習会(メイクアップ、挨拶、茶菓マナー等)	11名

- ④ 会員のマナー向上を目指す接遇講習会と2月に開催を予定していた会員の集いはコロナ禍の影響を受け中止となりましたが、就業会員には教育訓練支援テキストを送付し、就業先での接遇面や就業マナー向上について再確認する機会づくりに努めました。

(5) 労働者派遣事業

兵シ協が実施するシルバー派遣事業実績の契約額は、市内の小中学校・こども園、製造業を中心とする民間企業、スーパーマーケットや福祉施設から延べ61件の契約を受注し、契約額は73,961千円(前年度対比7,319千円増加)となりました。

(6) 有料職業紹介事業

兵シ協が実施する有料職業紹介事業の実施事業所として、高齢者の就

業に適した、臨時的かつ短期的又はその他軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に、有料職業紹介事業が実施できる体制は整えましたが実績がありません。

2. 法人事業

- (1) 定時総会を5月28日に開催し、令和2年度収支計算書類および特別会員の承認、理事・監事の選任と理事長に対する権限委任等の議案について、それぞれ承認を受けました。
- (2) 総務部会を7回、理事会を8回開催しました。(内容は次頁の資料参照)
- (3) 各専門部会等でシルバー人材センター事業についての研修を行うなどして円滑な組織運営に努めるとともに、理事・監事と地域班長の合同会議を7月16日と2月15日に開催しました。
- (4) 正副理事長および常務理事が第5回理事会(9月17日)、第8回理事会(3月11日)において職務の執行状況について報告しました。
- (5) 本年10月に予定される記念式典やイベントの開催に向けて、設立30周年記念事業検討(実行)委員会を設置し、(公社)門真市シルバー人材センター(大阪府)と(公社)舞鶴市シルバー人材センター(京都府)への視察研修を実施しました。
- (6) 当センターの事務局が設置されている朝来市高齢者活力創造センターの清掃ボランティア作業を9月16日から17日に実施しました。

3. 共益事業

会員同士の交流や親睦を図る事業に親睦委員会が工夫を凝らした各種事業を実施しました。

なお、多くの会員が楽しみにしていた日帰りバスツアーやスポット見学等は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

【令和3年度に実施した親睦事業】

実施時期	事業名称	内容	参加人数
4月3日	シルバーに春が来る	濱千代子さん歌謡ショー ほか	50名
10月30日	親睦グラウンドゴルフ大会	毎年恒例のグラウンドゴルフ大会	45名
11月20日	シルバーウォーキング	地域を発見! 生野銀山へ向け出発	40名

以 上